

法学研究科 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせて、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 法学基礎研究・・・111-F-100 → 法学研究科が開設した大学院科目で、基礎研究にあたる科目)

①開設部門コード

法学研究科 111

②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

③通し番号

法律学専攻 (111)

区分	定義
100-199	基礎研究
200-299	特殊研究
300-399	演習
400-499	研究指導
500-599	その他
600-699	特別研究
700-799	演習
800-899	その他

政治学研究科 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 共同基礎演習 I・・・112-F-101 → 政治学研究科が開設した大学院科目で、各コース共通科目)

①開設部門コード

政治学研究科 112

②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

③通し番号

政治学専攻 (112)

区分	定義
101～199	各コース共通科目
201～299	日本政治政策研究コース専門科目
301～399	国際関係・地域研究コース専門科目
401～499	社会・公共領域コース専門科目
501～599	政策・実務科目
601～699	研究指導科目等
701～	博士課程科目

経済学研究科 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 経済数学特論 I・・・121-F-101 → 経済学研究科が開設した大学院科目で、特論 I、IIにあたる科目)

①開設部門コード

経済学研究科 121

②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

③通し番号

経済学専攻(121)

区分	定義
101～199	特論 I, II (ともに2単位)
201～299	特殊研究(2または4単位)
301～399	演習(2または4単位)
401	特定課題研究

経営学研究科 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

①開設部門コード＋②履修規定上の位置付け＋③通し番号

(例 経営学文献講読 I・・・122-F-101 → 経営学研究科が開設した大学院科目で、博士前期課程の講義、経営学文献講読、I)

①開設部門コード 経営学研究科 122

②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

③通し番号

経営学専攻 (122)

区分	定義
100の位	0：博士前期課程の演習 1：博士前期課程の講義（特殊研究）（2、3は前期課程の予備番） 4：注1）、注2）参照 5：博士後期課程の演習 6：博士後期課程の講義（特殊研究）（7、8は後期課程の予備番） 9：注3）参照
10の位	学部科目に準じて分野を判断し付番 ただし「0」は演習ではなく以下の科目に用いる (経営学文献講読 I～IV、ケース分析 I～IV、データ解析演習 I～IV、特定課題研究、修士論文、研究指導 I、研究指導 II)
1の位	各分野の特殊研究科目を学則付表四に示された順で付番 (I～IVのような科目末尾番号と一致させることが可能な場合は、その場合に限り一致させる)

注1 同一科目名称で4単位と2単位の両方が学則上で存在しうる大半の科目については、同一科目ナンバーを付番する。ただし、経営学研究科特殊研究 I～IVに関しては、読み替え用として同一科目名称での4単位と2単位を区別するため、491から498の計8番号を付する。

注2 401：修士論文、402：特定課題研究、403：研究指導 I、404：研究指導 II

注3 901：博士論文

注4 開設部門はすべて122、履修上の位置づけはすべてFとする。

人文科学研究科 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせて、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 哲学特殊研究・・・131-F-200 → 哲学専攻が開設した大学院科目で、特殊研究(講義)科目)

①開設部門コード

哲学専攻 131	美術史学専攻 13A	史学専攻 132
日本語日本文学専攻 133	英語英米文学専攻 134	ドイツ文学専攻 135
フランス文学専攻 136	心理学専攻 137	臨床心理学専攻 13D
教育学専攻 138	アーカイブズ学専攻 13B	身体表象文化学専攻 13C
人文科学研究科共通 130		

②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

③通し番号

哲学専攻 (131)

区分	定義
100番台	演習科目
200番台	特殊研究(講義)科目
300番	論文指導科目(博士前期)
400番	論文指導科目(博士後期)

史学専攻 (132)

区分	定義
501~509	大学院科目(研究)
511~519	大学院科目(演習)
621	大学院科目(修士論文指導)
721	大学院科目(博士論文指導)

英語英米文学専攻 (134)

区分	定義
100番台	選択必修科目
200番台	選択科目
300番台	博士論文指導

フランス文学専攻 (136)

区分	定義
100番台	発展的内容
200番台	論文指導

臨床心理学専攻 (13D)

区分	定義
100	必修科目
200	A群選択必修科目
300	B群選択必修科目
400	C群選択必修科目
500	D群選択必修科目
600	E群選択必修科目
700	空き
800	博士後期課程臨床心理学演習
900	博士後期課程臨床心理学特別研究
201~299	後期課程 心理学演習
300~999	後期課程 心理学特別研究
備考	末尾(1:2単位、2:4単位、3:末尾2の2単位、4:末尾2の4単位) 100~600:臨床心理士養成指定認定協会指定科目

アーカイブズ学専攻 (13B)

区分	定義
特になし	現在開講している授業科目に通し番号を付した。今後新規開設される場合は、新規に付番するものとする。その年度のみの休講などの場合は、番号はそのままとし、開講となる年度には同じ番号を使用する。

美術史学専攻 (13A)

区分	定義
100番台	演習科目
200番台	特殊研究
300番台	修士論文指導
400番台	博士論文指導
備考・2桁目	0:日本東洋、1:西洋、2:全般

日本語日本文学専攻 (133)

区分	定義
001-099	講義・演習科目
100-199	論文指導科目

ドイツ語ドイツ文学専攻 (135)

区分	定義
610番台	言語学系
620番台	文学文化系
640番台	論文指導

心理学専攻 (137)

区分	定義
001~99	前期課程 心理学演習
100~199	前期課程 心理学特殊研究
200	博士論文指導
201~299	後期課程 心理学演習
300~999	後期課程 心理学特別研究

教育学専攻 (138)

区分	定義
011-099	必修科目
101-199	博士前期課程・選択必修科目
201-299	博士後期課程・選択必修科目
101-109 201-219	十の位が0または1は、教育基礎学コース
121-139 221-239	十の位が2または3は、教育実践学コース
141-159 241-259	十の位が4または5は教育創造コース

身体表象文化学専攻 (13C)

区分	定義
100の位	1:舞台芸術、2:映像、3:マンガ・アニメ、4:表象文化論、5:表象文化史、6:制度論、7:論文指導
10の位	1:批評研究、2:演習、3:論文指導
1の位	同じ科目に対して順に付番(ただし、今回の1、2は、4単位と2単位の区別のみ)

人文研共通 (130)

区分	定義
001~099	講義科目
100~199	演習科目

自然科学研究科 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 基礎物理学 I・・・141-F-801 → 物理学専攻が開設した大学院科目で、前期・後期両課程共通の科目)

①開設部門コード	物理学専攻 141	化学専攻 142	数学専攻 143
	生命科学専攻 144	自然科学研究科共通 140	

②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

③通し番号

自然研共通 (140)

区分	定義
700番台	前期課程のみの科目
800番台	前期、後期両課程共通の科目
900番台	後期課程のみの科目

物理学専攻 (141)

区分	定義
700番台	前期課程のみの科目
800番台	前期、後期両課程共通の科目
900番台	後期課程のみの科目

化学専攻 (142)

区分	定義
700番台	前期課程(710番台 無機化学, 720番台 有機化学, 730番台 物理化学)
800番台	前期、後期、両課程共通の授業科目(810番台 無機化学、820番台 有機化学、830番台 物理化学)
900番台	後期課程

数学専攻 (143)

区分	定義
700番台	前期課程のみの授業科目
800番台	前期、後期両課程共通の授業科目
900番台	後期課程のみの授業科目
2桁目の1～5	分野を表す:1代数、2幾何、3解析、4確率統計、5数理科学
2桁目の0、6	0は数学研究(ゼミ)、6は特別講義

生命科学専攻 (144)

区分	定義
700番台	前期課程
900番台	後期課程